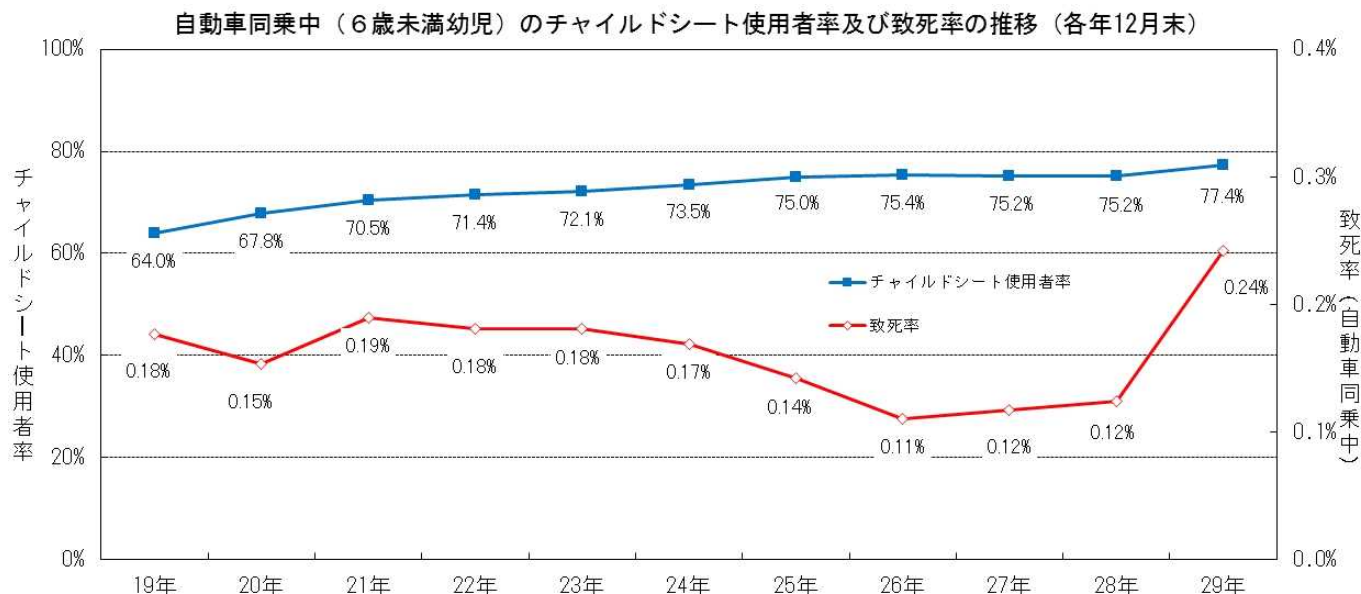


チャイルドシート関連統計

チャイルドシート使用者率（6歳未満幼児の自動車同乗中死傷者に占める使用の死傷者の割合）は、77.4%であり、近年、横ばい傾向にある。

6歳未満幼児の自動車同乗中のチャイルドシート使用有無別致死率をみると、適正使用者の0.04%に対して不使用者は約16倍の0.66%であり、チャイルドシートの適正使用が交通事故の被害軽減に寄与していることが認められる。



○ 自動車同乗中（6歳未満幼児）のチャイルドシート使用有無別死傷者数の推移（各年12月末）

有無別	年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	増減数	増減率	指数
		チャイルドシート使用	死者 9	4	7	5	6	5	6	3	1	1	7	6	600.0
	負傷者	7,583	7,077	7,058	7,093	6,763	6,959	6,857	6,153	5,758	5,448	5,116	-332	-6.1	67
チャイルドシート不使用	死者	12	12	11	13	10	11	7	6	8	8	9	1	12.5	75
	負傷者	4,061	3,214	2,810	2,695	2,495	2,382	2,136	1,861	1,783	1,658	1,360	-298	-18.0	33
使用不明	死者	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	—	—
	負傷者	201	132	135	133	115	116	147	143	111	134	127	-7	-5.2	63
合計	死者	21	16	19	18	17	16	13	9	9	9	16	7	77.8	76
	負傷者	11,845	10,423	10,003	9,921	9,373	9,457	9,140	8,157	7,652	7,240	6,603	-637	-8.8	56
チャイルドシート使用者率		64.0	67.8	70.5	71.4	72.1	73.5	75.0	75.4	75.2	75.2	77.4	2.2P	—	121
致死率（自動車同乗中）		0.18	0.15	0.19	0.18	0.18	0.17	0.14	0.11	0.12	0.12	0.24	0.1P	—	137

注1 増減数（率）は、平成28年と比較した値である。

注2 指数は、平成19年を100とした場合の平成29年の値である。

注3 チャイルドシート使用者率＝チャイルドシート使用死傷者数（自動車同乗中）÷死傷者数（自動車同乗中）×100

注4 致死率＝死者数（自動車同乗中）÷死傷者数（自動車同乗中）×100

○ 自動車同乗中（6歳未満幼児）のチャイルドシート使用有無別致死率（平成29年中）

有無別	年	死傷者数		致死率
		死者	負傷者	
チャイルドシート使用	適正使用	2	4,813	0.04
	不適正使用	5	303	1.62
	小計	7	5,116	0.14
チャイルドシート不使用		9	1,360	0.66
使用不明		0	127	0.00
合計		16	6,603	0.24

注1 「適正使用」とは、チャイルドシートが車両に適正に固定され、かつ、幼児等がチャイルドシートを適正に使用している場合をいう。

注2 「不適正使用」とは、事故によりチャイルドシートがシートベルトから完全に分離している場合、幼児等がチャイルドシートから飛び出した場合等をいう。

注3 致死率＝死者数（自動車同乗中）÷死傷者数（自動車同乗中）×100